

助けてくれる人はいら

「狭山事件」佐渡で上映会

再審請求の石川さん訴え

1963年に埼玉真狭

山形で女子高生が殺害さ

れた「狭山事件」で、無

期懲役判決を受けた石川

一雄さん(74)の日常を追

ったドキュメンタリー映

画「SAYAMA みえ

ない手錠をはずすまで」

の上映会が25日、佐渡市

新穂瓜生屋の「トキのむ

ら元気館」で行われた。

石川さんを支援しようと

有志による実行委員会が

主催し、約250人が集

まった。

石川さんは94年に仮出

獄。部落差別による冤罪

として、再審を請求して

いる。県内での上映会は

長岡市に続き2カ所目。

映画は石川さんが妻の

早智子さん(66)と過ごす

日常や、再審で無罪とな

ったほかの事件関係者ら

と交流する様子をとりえ

ている。

上映後、夫妻と監督の

金聖雄さん(50)が壇上で

語らい、石川さんは刑務

所で刑務官から漢字を教

わった体験を挙げ「助け

てくれる人はいらんだと

感じ、自暴自棄にならな

かった」と述べた。

参加した佐渡市の小学

校教諭長谷川亜耶さん

(26)は「事件は詳しく知

らなかつた。映画や話を

通じ、石川さん夫妻は強

い生き方をしていると感じ

た」と話していた。

上映前には、かつて被

差別部落出身者が担って「春駒」が披露され、会場を盛り上げた。



石川一雄さん(中央)早智子さん夫妻も訪れ、再審開始への支援を訴えた。25日、佐渡市